

イベントレポート

林業マン Talk Session

2021.1.24 sun
@日報ホール

2021年1月に新潟市で行われた「森林の仕事エリアガイド」内で、新潟県内で働く林業マンが、自らの体験談を交えながら林業という仕事の魅力や現状など、現場に即した話を展開するトークイベントを実施。林業マンのリアルな声が聞けたこのイベントの一部を誌上で再現します。



左から司会を務めるライターの桑原知子さん、五十嵐大輝さん(28歳・林業経験5年目)、大桃健汰さん(24歳・林業経験6年目)、植木洋一さん(43歳・林業経験13年目)。スクリーンでは植木さんの特殊伐採の様子も映された



まずは皆さんが林業の仕事に就いたきっかけを教えてください。

植木・スノーボードのバックカントリ―や登山が趣味で、山仕事も面白いなと思い、林業をやっている先輩に紹介してもらいました。

大桃・私は農業高校の林業コース出身で、実習で木を伐ったときの達成感から林業の仕事を選びました。

五十嵐・高校卒業後はリゾート施設でバイトをしていましたが、山のない場所に行ったら落ち着かなくて。父が林業をやっていたことから憧れもあつて、林業に興味を持ちました。

今はどのような仕事をしていますか？

五十嵐・特殊伐採をメインに山の中で木の伐採をしたり、重機で伐採した木の搬

出作業をやったりしています。

大桃・間伐現場で重機を操作したり、丸太を運んだり。特殊伐採もやります。

植木・今は間伐の作業道の開設を行っています。3人とも特殊伐採をやるんですね。

特殊伐採は、住宅街など木を倒すスペースがないところで、根元から倒すことなく木に登って上部から伐っていく作業で、林業の仕事の中でも高度な技術と経験が必要です。

大桃・林業は現場も変わるし、作業も重機とチェーンソーでの伐倒がある。例えば間伐でスギの木を倒すにも木1本1

していきたくと思います。五十嵐・林業未経験者でも「緑の雇用」ほか、手厚い研修があり、基礎的技術を身に付けられます。私も入社前に20日間講習でチェーンソーの講習を受け、準備ができました。

最後に会場の皆さんに林業の仕事についてアドバイスをお願いします。五十嵐・私と一緒に森を作っていきたい！大桃・私のように体を動かすのが好きな人に林業はおすすめです。

植木・林業はキツイ、汚い、危険の3Kと言われますが、僕はカッコイイ、給料がいい、健康に良いの3Kを目指しています。体力も必要ですがやる気と根性があり、経験を積めば危ない仕事ではないです。「緑の雇用」制度を活用して一人前の林業マンになって欲しいと思います。

林業は大変な仕事ですが魅力も大きい。映画『WOOD JOB』も参考に、ぜひ森の仕事にチャレンジしてください。

本で重心や枝の張り方が違い、倒し方が違うので、倒し方を考えるのも楽しい。

同じ仕事がないのは林業の魅力ですね。仕事で大変さを感じる時は？

植木・野外の仕事なので夏は暑く、冬の寒さとみぞれで濡れるのが辛い。大変だと思うことの方が多いですね。

大桃&五十嵐・植木さんに全部言われてしまいました(笑)。

植木・1年で一番キツイ夏場は水分を摂り、しっかりと食べて、睡眠を十分に取る。体調管理が欠かせません。

睡眠の話が出たので仕事の日の起床・就寝時間を教えてください。

五十嵐・6時に起きて7時半に会社到着。18時退社で、寝るのは22時から23時位。

大桃・6時から6時半に起き、会社の朝礼が7時40分です。20歳までは遊んだまま寝

ないで仕事に行ったりしていたけれど、もう無理です(笑)。

植木・6時過ぎに起きて夜は22時半から23時には寝ます。しっかりと睡眠をとりたいたいので早

朝が早い仕事ですが、終業時間が早めなので夜はゆっくりできますか？

植木・そうですね。現場作業のほか内業があると残業になることもありま

す。ただ、仕事のサイクルが分かるとプランニングしやすい仕事ではあるかなど。

この仕事をやっていてよかったと思う瞬間は？

五十嵐・自分が手入れた山が明るく、きれいになるとよかったですね。

植木・1本1本の木に歴史があると思うんです。家具にしたり、建材に使われたり、有効利用されて形になっていくのがうれしいです。

以前、植木さんの特殊伐採を取材したときに、木に挨拶をするのが印象的でした。植木・自然界で木は一番長生きだと思っています。刃を入



山が好き人は林業の仕事に向いていますよね。一方で、残念ながら現在の林業就業者の離職率の高さや担い手不足についてはどう考えますか？

植木・僕らの職場では待遇改善や職場環境改善に取り組んでいます。今年度、市の助成で給料が2万円上がり、現場のモチベーションも上がりました。社内コミュニ

